

光を北方から

令和5年度学校だより第4号

<発行責任者>

北海道旭川盲学校

校長 宮岸 尚平

令和6年3月22日

地域とともに子どもを育てる学校に向けて

校長 宮岸 尚平

3月になっても大雪や寒い日が続き、春の訪れを遠くに感じていましたが、ようやく暖かな陽気が校長室の窓からも射すようになり、長く厳しかった冬の終わりが近付いてきているように感じます。

さて、今年度は様々な教育活動がコロナ禍以前と同様に実施することができるようになりました。特に、文体連が4年ぶりに札幌視覚支援学校に集合して開催され、道内の盲学校の友だちが交流したり競い合ったりすることができ、子どもたちの成長につなげることができたのは本当に良かったです。運動会や学習発表会も人数制限なく実施することができ、多くの方々に子どもたちの様子を見ていただくことができました。

一方で、コロナ禍で培われたICTを活用した取組も積極的に進められ、これまで行われてきた道内の盲学校間のオンライン交流などのほか、今年度からは創立者が同じという縁から、鹿児島盲学校とのオンライン交流も始まりました。旭川盲学校と鹿児島盲学校は約25,000km離れていますが、ICTを活用することにより時間と空間を縮め、画面越しではありますがいつでも会うことができました。これからも継続して交流を続け、両校の子どもたちにとって新たな学びとなるような経験ができればと思います。今後も、これまで本校で培われてきた教育活動とコロナ禍で得た新たな教育活動を組み合わせて新たな取組をこれまで以上に推進してまいります。

今年度も保護者や同窓会、後援会をはじめ地域の皆様にはたくさんのご支援ありがとうございました。今年度からコミュニティー・スクールとしての取組も始まり、今後は保護者、地域、関係機関と連携・協力した取組をより一層進めていくことになります。学習指導要領に示されております「社会に開かれた教育課程」の理念の実現に向け、地域とともに子どもを育てる取組を行ってまいりますので、今後とも本校の教育活動にこれまで以上のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年度文部科学大臣優秀教職員表彰教職員組織表彰・若手教職員奨励賞

昨年度の北海道教育実践表彰続き、今年度は令和5年度文部科学大臣優秀教職員表彰教職員組織表彰を受賞しました。また、久守教諭も昨年度の若手教員奨励賞に続き、令和5年度文部科学大臣優秀教職員表彰若手教職員奨励賞を受賞し、1月16日に東京大学安田講堂で開かれました表彰式に久守教諭と一緒に参加してきました。

創立101年目の新たなスタートの年にこのような大きな賞をいただけたことに感謝するとともに、今後も、道北地区の視覚障害教育の充実に向け専門性の向上に努めてまいりたいと思います。

第3号でもお伝えしたように、今年度は優良PTA文部科学大臣表彰も受賞し、文部科学省表彰を2つも受賞することができた素晴らしい年となりました。これまでの本校の教育を支えてくださいました、旭川盲学校に関わられた全ての教職員の皆様、保護者、後援会、同窓会、地域の皆様に心から感謝申し上げます。詳しくは本校HPもしくは文部科学省HPをご覧ください。



文科省HP



旭川盲HP

幼稚部の様子

年間を通して行ってきた札幌視覚支援学校、帯広盲学校との3校オンライン交流ですが、先日の第5回目でようやく3校全員が揃って参加することができました。3名が揃った写真は、ひな祭りが近かったのでお祝いとしてジュースで乾杯をしたときのものです。それぞれの良さが出た楽しい交流になりました。

期間が短い3学期でしたが、子ども同士の関わりが増えて、互いに意識をしながら過ごすことができました。4月からは進学、進級をして環境が変わりますが、これからも一人一人の成長に寄り添っていきたいと考えます。



小学部の様子

小学部の3人が楽しみにしている冬の活動と言えば、体育で歩くスキーを頑張ったあとのごほうび、ソリ滑りやチューブ滑りの活動です。学校の雪山を滑るソリ滑りでは、大きなソリに2人で乗って滑ったり忠和公園で行った歩くスキー学習では、チューブ滑りをしたりしました。大迫力のスピードで滑り降りた後は、みんなの楽しそうな笑顔がたくさん見られました。

鹿児島盲学校の小学部生とオンライン交流学习を6回行いました。鹿児島盲学校と旭川盲学校はともに、南雲総次郎先生が創立した学校という縁があり、オンラインでの交流学习を実施することになりました。自己紹介やクイズゲームなどで交流を深め、国語や算数の授業も行いました。算数の学習では、共通のワークシート教材を触りながら、わかったことや気が付いたことを積極的に発言することができました。次年度も継続して交流を行っていきます。



中学部の様子

中学部では、姉妹校である鹿児島盲学校とオンライン交流を2回に分けて行いました。一回目は、創始者の南雲総次郎先生の顔写真を見せ合い、旭川盲学校からはスキー授業の様子を伝えたり、鹿児島盲学校の特産品クイズを楽しんだりしました。そして、鹿児島盲学校に北海道の雪を配送したあとで、2回目の交流をしました。鹿児島盲学校の生徒が雪を楽しむ様子をビデオで見て、その後はフリートークで交流し、「北海道の雪はさらさらしてた」「鹿児島と旭川の気温差が37度もある」といった北海道と九州の違いをいろいろと学びました。

今年も旭川市の福祉バスを利用して、北彩都歩くスキーコースにスキー学習に行きました。コースコンディションや天候に恵まれ、きれいに整備されたコースを一步一步確かめながら、長い距離を歩きつづけ、充実した時間を過ごしました。自分の力を発揮し、目標をやり遂げた達成感に満ちた表情が印象的でした。今年度もあとわずか、健康に留意しながら全力で学校生活を楽しみ、学習を積み重ねていきたいと思います。



寄宿舎の様子

寄宿舎のお別れ会が3月13日に行われました。今年度は5名の卒業生を送り出すことになります。会では校長先生、舎室の担当職員、在校生からの心温まるメッセージが上映されました。そして卒業生からの一言では、高校進学におけた意気込み、みんなへの感謝などの話がありましたが、思い出がありすぎて言葉につまる舎生もいました。最後に在校生から記念品としてお祝いメッセージが録音されたCDとお菓子詰め合わせセットが手渡され温かい雰囲気以て終了となりました。高校生になってもたまには遊びにきて成長した姿を見せてくださいね！！



令和6年度「入学式・始業式」について（お知らせ）

- ・日時：令和6年4月8日（月）10時から
- ・登校時間：幼稚部（9時30分）、在校生（8時35分）、小・中学部新入生（9時）

4月の行事予定について、保護者の皆様は令和6年3月1日付けで配付しました「令和6年度4月行事予定について（お知らせ）」でご確認ください。

